

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 メルシー中野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		休憩室また相談室を活用して、運動プログラムに応じたスペース作りをしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、運動療育の為安全面を考慮し、必要に応じて職員の数を増やしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリー化の配慮をしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		その都度、報告、連絡、相談を子どもに関する職員全員で定期的に意見交換を行っています。(定期ミーティングでも再共有)	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けアンケート調査を行いました。アンケートにより、保護者から頂いた意見をもとに業務改善に活かすよう取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています。また保護者への公開告知をしています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者機関を定めての外部評価は行っていませんが、本社会議等また地域とのつながり等での意見交換を行っています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修及び他事業者が提供している研修会を含め、子どもの支援に関する研修などに参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別面談の他、送り迎え時に保護者との会話からニーズを把握し、職員のモニタリングを加味した上で、共有した計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントや発達状況のシートを使用し、現状把握を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のお子さまの状況を共有し、プログラム修正改善等は、職員全体で共有し実践しております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さまやご家族のニーズを基に、児童にあった支援プログラムを提供するよう適時改善しております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		基本的に運動療育ですが、休日、長期休暇においては、その時期に応じた課題も入れています。(自立に向けた支援)	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団活動が基本ですが、子どもの状況に応じて臨時的な個別活動に切り替えて支援しております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援に入る職員が一日の流れをボードにて確認し、役割分担などの打ち合わせした上で、その日の支援を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後、職員でミーティングもしくは連絡ノートに記入しております。(情報共有板を事務所に設置)	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人記録(送迎時含む)は正確に記録しております。記録を基に、支援の検証から改善につなげております。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、職員間のミーティング等で適時見直しを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		運動療育を通じて、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルの向上にも力を入れております。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		責任者、管理者兼児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士が複数参加して、情報交換を密に行っております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		主に保護者の方からの情報を基に共有しております。また送迎時の学校との情報交換や、電話、LINE、メールなどで連絡を取っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在該当者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			担当者会議などを通して、相談支援員を交え、必要な情報の共有に努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		相談支援員、保護者への情報提供を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		相談支援員、保護者また併用デイからの情報提供が主になっていますが、必要に応じて助言等を求めてまいります。研修会等は積極的に参加してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			母体のスポーツクラブ主催イベントまた地域の行事に参加し交流しております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			協議会の研修等については参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			情報共有の必要性を認識し、都度送迎時や電話及びLINE、メール、また連絡帳により、日ごろの子どもの様子を伝えております。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		相談に応じて、都度アドバイスさせていただいております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書を基に、運営規定、支援の内容、利用者負担額などについて、丁寧な説明をこころがけております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時、子育てなどの悩みや相談に応じ、必要に応じて面談を行っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍でできていませんでしたが、今後は親子で参加できるイベント等を企画し、保護者同士が交流できる場を設けたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情解決担当者、責任者を掲示しております。また重要事項説明時にもお伝えしております。苦情などがあつた場合は迅速に対応していくよう努めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		定期的に活動プログラムの発信、行事予定表の配布などを行っております。
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報がある文章に関しては、鍵のかかるロッカーに収納し責任者が管理しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			一人ひとり目で見てわかるよう、また保護者に伝わるように、具体的に資料を使って伝達させて頂いております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在行っていません。(検討課題といたします)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	緊急時対応、防犯、感染症マニュアルを作成して説明しております。訓練は、職員、子どもたちで実施し、連絡帳にて保護者に伝えております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	あらゆる災害を想定し、定期的に訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	適時職員全体での虐待防止研修を実施し、日々、虐待防止マニュアルにのっとり支援を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、虐待防止マニュアルに基づき、必要に応じた対応を行っております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	事前に保護者を通して、アレルギー等の有無報告を受けた上で対応しております。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット事例を列記し、起こった際にはヒヤリハット報告書を作成、共有できるようにしております。	